

博物館だより



No.152

令和元年7月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

◆博物館NEWS

「文化のみやこづくり」記念プロジェクト

わたしの町の過去・現在・未来絵画コンクール 小学生歴史たんけん作文コンクール

博物館では京築地区に在住・通学する小中学生を対象に、ふるさとの歴史と文化ゆかりの絵画・作文作品を募集するコンクールを開催します。

これから迎える夏休みを利用して、自分の家族や地域・日本の歴史や文化にまつわる「みどころ」や「お気に入り」を、絵や文章で表現し合おう！というコンクールです。

★わたしの町の過去・現在・未来絵画コンクール（3部門）
三つの部門からお気に入りのテーマを選び、わたしの町の「過去・現在・未来」の姿について、あなたが「いいね！」と思っっているお気に入りの文化遺産や眺め・想像を描いて下さい。

▼作文コンクール最優秀賞朗読（昨年度）
例年50～100作品の応募がある中から選ばれた最優秀作品は、表彰式当日、会場内で授賞者による朗読が行われます。



▲絵画コンクールグランプリ作品（昨年度）
例年1,000点を越える応募がある絵画作品は、優秀賞までを事前審査したのち、グランプリ作品（最優秀作）を、会場内投票によって当日決定しています。

◆応募要領（概要のみ）

- ・メー切 .. 9月20日（金）
- ・応募方法 .. 博物館へ郵送か持参
- ・その他 .. 入賞者へ賞品贈呈
- ・入賞者とその作品は10月20日（日）に開催予定の「みやこ町古墳まつり」会場で掲示の上、表彰します。今年もたくさんのご応募お待ちしております！
- ・なお、ご紹介以外の詳しい応募要領については博物館☎33-4666へお問合せ下さい。

◆講座教室・催し物ガイド 7月の歴史講座

- 【漢詩紀行講座】
7月6日（土） 9時30分～
 - 【古文書講座】
7月13日（土） 10時～
 - 【古典かな講座】
7月20日（土） 9時30分～
 - 【みやこ学講座】
7月27日（土） 10時～
- ※日程等変更となる場合があります。
※見学会等は別途通知します。

博物館で「楽習」 始めませんか？



▲博物館友の会と文化遺産ボランティアメンバーによる三重塔すす払い ほかにも様々な楽習事業に取り組んでいます

博物館は郷土資料と学芸員らのサポートによる知と学びの拠点です。以下の会や講座を利用して楽しく学びませんか？詳しくは博物館まで気軽にお問合せください！

- 博物館友の会
 - バスハイク・歴史たんけんウォーク等の学びの旅に参加できます。
 - 文化遺産ボランティア養成講座
- 町の宝をガイド&ガードするスタッフを募集・養成する講座です。今からでも町外からでも大丈夫！

4～6月の業務日誌から

改元記念特別展「改元と吉田増蔵展」の開催に伴い、吉田健作と増蔵の関連資料を当館に多数寄贈していただきました。企画展初日の4月29日に、博物館長から寄贈者である行橋市在住の吉田朝生様へ感謝状が贈られました。

6月2日（日）企画展関連事業「みやこ町で見る、学ぶ「令和」と万葉の世界」と題したバスハイクが実施されました。当日は、町内外から数多くの参加者がみられ、「万葉の時代」にこの町が非常に重要な政治・文化の拠点地域であったことを「見て学ぶ」ことができました。



▲二人の兄弟を顕彰していく上で欠かせない大変貴重な資料を寄贈していただきました。



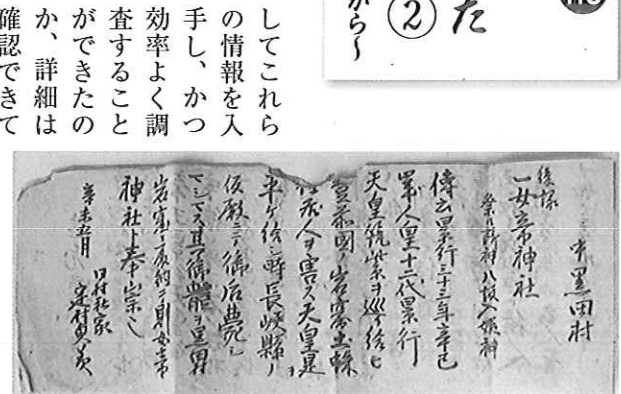
▲国分寺三重塔の見学風景。みやこ町の「万葉の世界」を満喫した1日となりました。

みやこの歴史発見伝 118

外国人が調査した みやこの町の古墳② イギリス大英博物館収蔵資料から

古墳の調査にみられる「謎」

5月、大阪府にある「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産への登録勧告が発表されるなど、その歴史的な価値が海外でも評価されている「古墳」ですが、外国人による本格的な調査・研究は、先にご紹介したウイリアム・ガウランドによってはじめて行われ、その調査記録がイギリスで発表されたことに伴って、海外ではじめてその価値が認識されるようになりました。彼は全国各地に分布する膨大な数の古墳の中から「巨石で築かれた横穴式石室墳」など自分の調査目的に合った406基を抽出し、調査を行っています。これらの古墳は、現在、国の指定を受けている古墳、若しくは考古学界で注目されているものが多くを占めるなど、実には的確な選択を行った上で調査を行っていることが分かります。しかし全国にみられる古墳の分布図や記録の集成等が作成されていない時代に、一人の外国人がどのように



▲明治四年 中黒田村女帝神社陵墓調査記録文書(個人蔵)

してこれらの情報を入手し、かつ効率よく調査することができたのか、詳細は確認できていませんでした。しかし、この「謎」を解明する「鍵」とみられる記録が、綾塚古墳の関連資料の中で確認することができましたので、ご紹介いたします。

明治4年の「陵墓調査」

ガウランドが勤務することになる大阪造幣寮(現在の造幣局)が完成した明治4年、天皇を中心とした新たな政治体制を確立する上で重要な法令が次々に公布されています。この年の2月14日、全国の府・藩・県に対して、皇子・皇女等の御陵墓の調査を行い天皇陵・皇族墓の伝承が認められた場合は上申を求め、太政官布告が公布され、調査は、郡・村等にも及びました。この

調査は、政治の中で皇室の祭祀体系が重要な意味を持つようになったため、地方にみられる天皇・皇后以外の陵墓も所在地等を明確にすることを目的として実施されますが、見方を変えれば、国の規模で実施された「国内初の古墳の分布調査」であり、これによって政府は日本各地に分布する古墳の詳細なデータを把握することができました。特に重要と判断されたものについては、政府から調査のため役人を派遣することもあり、最終的には皇族に係る陵墓(古墳)と認められるものについては、その後「陵墓参考地」として登録されたものもみられます。

綾塚古墳の調査記録

みやこの町勝山黒田にある綾塚古墳に関する「太政官布告」の内容については、「明治四年辛未歳御用日記」にこの具体的な調査内容の指示が記されており、「中黒田村 女帝神社皇妃御陵墓ト申伝ニ付書状」は、前述の回答文書の「控」とみられるもので、「黒田良平」という人物がまとめ明治政府に提出したものです。これをみると家形石棺が割られた後、また元に戻された過程や、古墳の由来、石棺・石



▲上記の文書添付絵図

が注目されます。彼の調査記録にみられる古墳の中には、現在「陵墓参考地」として立ち入りが制限されている古墳も含まれています。記録の大部分が大英博物館に所蔵されていますが、現在調査を行うことができない陵墓の考古学資料として、非常に重要な資料に位置付けられています。ガウランドは帰国後、イギリスの有名な巨石記念物「ストーン・ヘンジ」の調査に携わっています。この調査手法には、綾塚古墳をはじめとした、古墳の横穴式石室の調査方法が反映されています。日本各地で外国人観光客獲得に向けた取り組みが模索される昨今ですが、これに対して140年前に外国人が「命」をかけてまで、見る価値があると評価した古墳が町内にあることを誇りに思いたいものです。

ガウランドが残したもの

彼が、どのような方法で日本各地の古墳の調査をスムーズに遂行できたのかという「謎」について、この陵墓調査のデータを参考資料として用いたのではないかとこの見解もあり、これらのデータがガウランドの調査に何等かの影響を及ぼしたものと推察されます。下の写真はイギリスの大英博物館に収蔵されている調査中のガウランドを写した数少ない一枚ですが、登山靴のような靴を履いていること



▲大阪府塚原古墳群の1基の石室に立つガウランド (原品は大英博物館蔵 後藤和雄複製 明治大学博物館寄託)

【井上信隆】